

登録コード:MH401100 開講年度:2026		授業科目区分	専攻専門科目	必修
科目名	作業療法概論【20M以降】 Introduction to Occupational Therapy			
担当教員	上村 智子 務臺 均・佐藤 正彬・田中 佐千恵			
対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限	作業療法学専攻/1年 前期 木曜・4 時限			
単位数、講義室	1 単位	保健学科 1 2 1 講義室	遠隔授業科目	
信大コンピテンシー	該当			
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素		授業の達成目標	
	MH20カリ・保健			
	生命を尊び、人間についての幅広い知識を身に付け、対象を全人的に理解して、人々の健康を支援することができる。		対象を全人的に理解し、健康を支援する作業療法の哲学、概念、歴史を理解する	
	保健・医療の専門職者として必要な感性を磨き、基本的知識・技術を獲得して、さまざまな状況で活用できる。		身体、精神、発達、老年期の作業療法の実践の流れを理解する	
	MH25カリ・保健・作業、MH23カリ・保健・作業			
	基礎的・専門的な知識と技能 保健・医療専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し、さまざまな状況で活用できる。		作業療法の実践に必要な、一連の過程を修得し、作業療法の実際として、4 領域すなわち、身体、精神、発達、老年期の作業療法の実践の流れを理解する	
授業で学べる「テーマ」	科学的探求力 変化し続ける社会で派生する多様な課題に対して、地域・国際的な視点から、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と、課題克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている。		作業療法の意味や作業療法の原理を理解し、積極的に学習していく態度を身につける	
	健康長寿			
全学横断特別教育プログラム				
授業概要	本授業では、作業療法の基礎となる哲学、概念、歴史を知り、作業療法士としての資質と適性について学びます。さらに、作業療法を学習するために必要な基礎知識を解説し、身体、精神、発達、老年期の各専門領域について導入的に説明します。 本授業は、1年前期の「基礎作業学」「作業療法見学実習」の内容と相補的に学んでいくことになります。そして、2年生からの作業療法の専門科目における重要な基礎知識となります。 本授業は、担当教員の保健・医療・福祉サービス提供機関における作業療法士としての実務経験を活かして講義を行います。 本授業は男女共同参画に関する内容を含んでいます。			
授業計画	第 1回（4月 9日） オリエンテーション＆作業と作業療法 第 2回（4月16日） 「作業」の意味 第 3回（4月23日） 作業療法の歴史と原理 第 4回（5月 7日） 作業療法に関連する予備知識、作業療法の実践現場 第 5回（5月14日） 作業の分析、作業の治療的適用 第 6回（5月21日） 作業療法の理論 第 7回（5月28日） 作業療法の仕組み 第 8回（6月 4日） 評価と問題点の抽出、治療プログラムの立案・フォローアップ 第 9回（6月11日） 臨床的思考過程と作業療法士の自己活用・小テスト 第10回（6月18日） 作業療法の実際1（身体障害領域） 「務台」 第11回（6月25日） " 2（精神障害領域） 「田中」 第12回（7月 2日） " 3（老年期障害領域） 第13回（7月 9日） " 4（発達障害領域） 「佐藤」 第14回（7月16日） 記録と報告 「務台」 第15回（7月23日） まとめ 授業アンケートの実施・小テスト 第16回（7月30日） 期末試験 無印の担当は「上村」			
授業の進め方	授業は教科書と配布資料に基づいて進めていきますが、能動学習による理解の深化を目指すため、質疑応答にも重きを置いて展開します。特に大切な点は、学習内容を各単元で設定したSB0のチェックリストとキーワードに基づいて自ら振り返り、学習内容を整理して理解を深めるという点です。SB0の達成度を確認するために各単元ごとに小テストを実施します。また、小テストの作成や採点にも参加していただきます。			
テキスト、教材、参考書	テキスト 能登真一編：作業療法概論 第4版。医学書院。2021。 参考書は授業で紹介します。			
成績評価の方法	小テスト、期末試験の成績に基づいて、総括的に評価します。総括評価の配分は小テストの模範解答作成10％、小テストの成績30％、筆記試験の成績60％とし、総計の60％以上を合格とします。小テストの模範解答作成は、各学生の担当回終了後に、小テストは単元終了後に、あらかじめ日程を示して実施します。期末試験は上記の通り実施します。 筆記試験では、作業療法の原理や歴史を踏まえて、各領域の作業療法実践と、その過程に			

成績評価の方法	ついて理解度を確認します。小テストや期末試験の結果については、実施後にフィードバックします。
成績評価の基準	小テストと期末試験による成績評価の判定基準は、下記の通りとします。 90 - 100点：秀，80 - 89点：優，70 - 79点：良，60 - 69点：可 なお，筆記試験の採点基準は，授業で説明した範囲における，最低限の理解の基準にあれば「水準にある（可）」，やや詳細な内容であれば「やや上にある（良）」，十分に詳細な内容であれば「かなり上にある（優）」，授業で説明した範囲以上に自身で能動的に学習した詳細な内容であれば「卓越している（秀）」と判定します。
事前事後学習の内容	【事前学習について】 授業の終わりに，次回までに学習すべき内容について説明を行います。 【事後学習について】 授業の初めに，前回の授業で復習した内容や能動学習として学んだ内容についての質問を受けます。各自，単元ごとにSB0とキーワードにより，学習内容を確認してください。この学習結果を小テストで確認します。 本授業の単位取得には45時間の学習が必要であるため，以下のような学習時間を必要とします。 授業時間30時間（2時間×15回）＋事前・事後の自己学習時間15時間（1時間×15回）＝45時間 以上の自己学習時間を考慮して，事前・事後学習に意欲的に取り組んでください。
学生へのメッセージ並びに質問，相談への対応	本科目と「作業療法見学実習」は，作業療法や作業療法士について理解を深め，専門教育のレディネスを高めるための科目です。作業療法や作業療法士のイメージを統合するという目的をもって，授業に参加してください。 質問への対応：上村智子 tkamimu@shinshu-u.ac.jp オフィスアワー：木曜日12時～13時 保健学科中校舎4階 上村研究室